

日本応用地質学会 第1回キャリアデザインセミナー開催報告

ダイバーシティ推進特別委員会

1. はじめに

ダイバーシティ推進特別委員会では、2021年度活動基本計画のひとつである「会員交流の場の創出」の取り組みとして、「キャリアデザインセミナー」を3回開催することを予定している。応用地質学分野における多様なキャリアデザインとロールモデルを示すこと、意見交換を通して様々な属性を持つ参加者同士が繋がる機会を提供することで、若手の方々のキャリアパス形成やシニアから若手への知識や技術の伝承の一助となることを目指している。

本稿では、科学警察研究所の杉田律子氏、土木研究所の昆周作会員を講師にお迎えし、2021年6月22日に開催された第1回キャリアデザインセミナーの内容について、報告する。

2. 開催概要

今回のセミナーの開催概要を表-1に示す。コロナ禍の影響でWebのみでの開催となったが、48名の方にご参加いただいた。女性管理職としてご活躍されている杉田氏、若手でありながら国際経験も豊富な昆会員に、これまでのキャリアパスなどについてご講演いただいた後に、意見交換を通して参加者の交流を行った。

表-1 セミナー開催概要

日時	2021年6月22日(火)13:30~15:00
開催形式	Web開催(Zoom Meetingを使用)
プログラム	趣旨説明~13:35 杉田氏・昆会員ご講演~14:15 意見交換~14:50 記念撮影等~15:00
その他	参加費無料・非会員も参加可 CPDポイント付与(1.5単位)

3. 講演概要

3.1 科学警察研究所 杉田 律子氏

杉田氏は科学警察研究所附属鑑定所の所長を務められており、日本地質学会理事、日本法科学技術学会の理事職にも就かれている。

講演では、科学警察研究所の仕事内容、法地質学について、経歴やキャリアパス、職場環境やワークライフバランスについてご紹介をいただいた。杉田氏は研究員、妻、母、

管理職などの様々な立場の中で、責任のある重要な仕事をされている。講演の中で最も印象的だったことは、「周囲とのコミュニケーションの重要性」であった。仕事や家庭、ご自身の大変な時期を、家族や職場、近所の方とコミュニケーションをしっかりと取り、周りの方々の助けも借りながら乗り越えられたお話は、非常に参考になった。また「この状況でやるしかない!」と勢いと成り行きに任せて、さまざまな問題を乗り越えて来られたお話は、刺激的で興味深い内容であった。

一方で、趣味を大切にされ、上手くストレス発散をなさっていること、社会人大学院時代のフィールド調査にお子様を連れていき、サンプリングを手伝ってもらって親子の時間も楽しんでいたこと、家庭では何かと地質の話で盛り上がり家の中に岩石や鉱物のサンプル、地質関係の論文誌や調査用具が転がっているなど、仕事や専門の地質学が家族のコミュニケーションツールになっていることが面白い、理想的な家族関係を築かれていると感じた。

子どもが小さいうちは時間の制約があり、なかなか出張や現場も出られない状況になる。また、仕事、家庭、子育てに毎日追われ、なにかもが中途半端に過ぎて行ってしまうように感じるかもしれない。ただ、このような時期は、周囲の助けも借りながら、工夫してなんとか乗り切っていきたいと改めて思った。今回、貴重なキャリアデザイン、ロールモデルを紹介してくださった杉田氏に心から感謝したい。

3.2 土木研究所 昆 周作会員

昆会員は高校卒業と同時に大工として就職したものの、その後大学へ進学、海外のインターンシップへの参加、学位取得、就職・転職と異色の経歴をお持ちであり、応用地質学会の国際委員、将来構想検討特別委員として学会活動にも貢献されている。

講演では、昆会員のこれまでの経歴や進路選択におけるターニングポイントについて、当時の写真を交えながらお話しいただいた。自分の人生を左右する選択を迫られると、誰しも不安になったり怖気づいたりするものだと思うが、昆会員はリスクを恐れずチャンスを次々と自分のキャリアアップにつなげており、その行動力・向上心は感服の一言であった。その中でも、ターニングポイントでの人との出会いの話が印象的だった。大学進学を志すきっかけとなった幼馴染のお母様や、転職を考える際に背中を押してくださった職場の方など、様々な心温まるエピソードをご紹介いただいた。

海外での生活・仕事のご経験についても、これまで関わった多様な方々との出来事をもとにお話しいただいた。「アメリカでは海外の人のコミュニティ参加を歓迎してくれるが、日本人が逆に受け入れる立場の場合、言葉の違いや人

との付き合い方の違いから敬遠する傾向があり、日本在住の海外の方はつまらなく感じているかもしれない」という言葉にはハッとさせられた。海外の方とのコミュニケーションは、こういうところから変えていかなくてはならないと強く感じた。また、海外では長時間労働文化は通用しないこと、何よりも家族や友人を大切にしていることなど、自分の仕事への取り組み方を改めて見直してみようと思えるお話でもあった。

講演全体を通して、「これまで出会った方々の支えがあったからこそ今がある」ことへ感謝をしながら歩んでいってしゃることが言葉の節々から伝わってきた。国籍に関係なく、人を惹きつける魅力のひとつは「謙虚な姿勢」であることを、身をもって示しているように感じた。

4. お わ り に

お二人とも「自分の道は自分で切り拓く」姿勢が非常に強く、講演中はパワーに圧倒されたが、意見交換は終始アットホームな雰囲気の中で、普段は聞きづらい職場や家庭の様子、趣味などの話題も上がった。自分のキャリアアップや生活面で参考にできそうな話も多く、時間が過ぎるのがあっという間であった。

セミナー終了後、参加者の方にアンケートを実施した。その結果、セミナーの感想で「満足」と回答された方は93.8%であった。また、今回は1時間30分の時間でセミナーを開催したが、「短かった」と回答された方が18.8%いらっしやったことを受け、次回のセミナーは2時間の枠で開催することを検討している。聴きたいトピックとしては「民間企業におけるキャリアについて」や「共働き」、「子育て」「介護」「転職」「定年退職後」などのキーワードが挙がっている。回答いただいた結果を今後のセミナー企画に役立てていきたい。

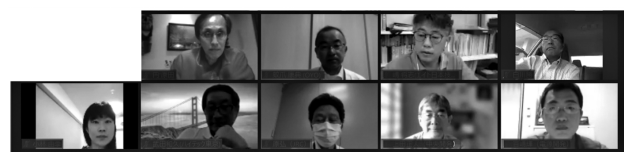


写真-1 第1回キャリアデザインセミナー参加者
(記念撮影時にカメラに映った方のみ掲載しています)

今後も引き続き、応用地質学という輪の中で、性別問わず、若手からベテラン、様々な方と交流させていただく場としてセミナーを実施していきたい。最後に、初めての委員会主催のセミナーで試行錯誤な部分も多かったにもかかわらず、予定を調整し参加してくださった皆様に、この場を借りて改めて感謝を申し上げます。

第2回キャリアデザインセミナーは、以下の日程、講師を予定しています。次回も、多くの方の参加をお待ちしております。

2021年8月19日(木)13:30-15:30

伊藤 浩子氏 (一財)地域地盤環境研究所

磯村 敬会員 八千代エンジニアリング(株)

(文責:喜 里美, 山下久美子)